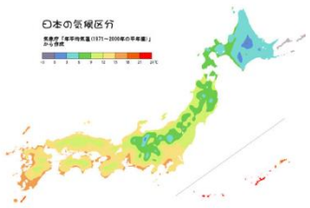
技術　～栽培に適した環境～　　１年（　）組（　）番　名前（　解答　）

1 自分の住んでいる地域は寒冷地・温暖地どちらですか。



地域	寒冷地　・　温暖地

もし、とうもろこしを育てるとしたら、何月に種をまけばよいだろう。

３　月

2 環境的要因

・（　生物　）的要因 病原菌⇔ほかの有用な微生物 害虫⇔植物を守る天敵
・（　気象　）的要因 風・気温・光・雨
・（　土壌　）的要因 水・養分・空気（酸素）・土の粒子

3 栽培方法について

ア（露地栽培）

屋外にある畑で栽培する。

イ（容器栽培）

鉢、プランター、麻袋などで栽培する。

ウ（施設栽培）

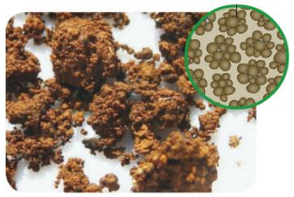
ビニルハウスや温室で栽培する。

エ（養液栽培）

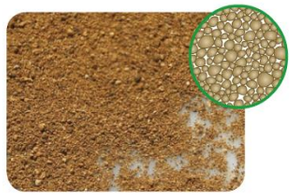
土を使わずに、培養液で栽培する。

4 土の準備

①図のＡ、Ｂのような土の構造の名称を書こう。
②ＡとＢのどちらが作物の成長に適しているだろうか。（　Ａ　）
③植物の成長に適した土の特徴をまとめよう。
- （　やわらかい　）土で、根が張りやすく作物が倒れにくい。
- 隙間に水や（　空気（酸素）　）を蓄えられる。
- （　有機物　）を含み、土の粒子が小さな塊になっている。



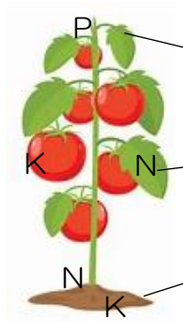
Ａ（　団粒構造　）



Ｂ（　単粒構造　）

5 肥料について

（１）肥料の三要素



肥料	はたらき
①（リン）（P）	花や果実、たね、新根や成長のさかんな部分の生育を促す。
②（窒素）（N）	植物の成長に役立つ。 主に葉や根を成長させる。
③（カリウム）（K）	光合成を活発にする。果実のつき方と育ちをよくする。根を成長させる。

（２）肥料の種類

①（　有機質　）肥料	②（　無機質　）肥料
動植物の有機物が原料。 微生物によって分解され、吸収しやすくなる。たい肥、油かす、骨粉など	無機物が原料。 吸収が早い。 硫酸アンモニア、過リン酸石灰など